

製品総合カタログ

GENERAL CATALOG

防水塗料/防滑塗料/防汚塗料/氷点下塗装/
遮熱・断熱塗料/石材裏面処理剤

透明塗膜外壁防水材のパイオニア セブンケミカルが目指すのは、 環境への配慮と、 人と技術進歩が共生できる 快適空間の創出。

優れた機能と意匠性を両立する製品

セブンケミカルの外壁防水材はさまざまな下地面に対応しています。
また透明塗膜、防水、防滑など機能も豊富です。
用途に合わせた製品をお選びいただけます。

INDEX

防水塗料

セブンS・SS	03
セブンウォール	08
セブンウォールシーラーレス	11
セブンサイディングコート	13
セブncourtN	14

防滑塗料

ホゴコンエース	15
---------	----

防汚塗料

セブンチタニック	17
----------	----

氷点下塗装

タイカンコート	21
---------	----

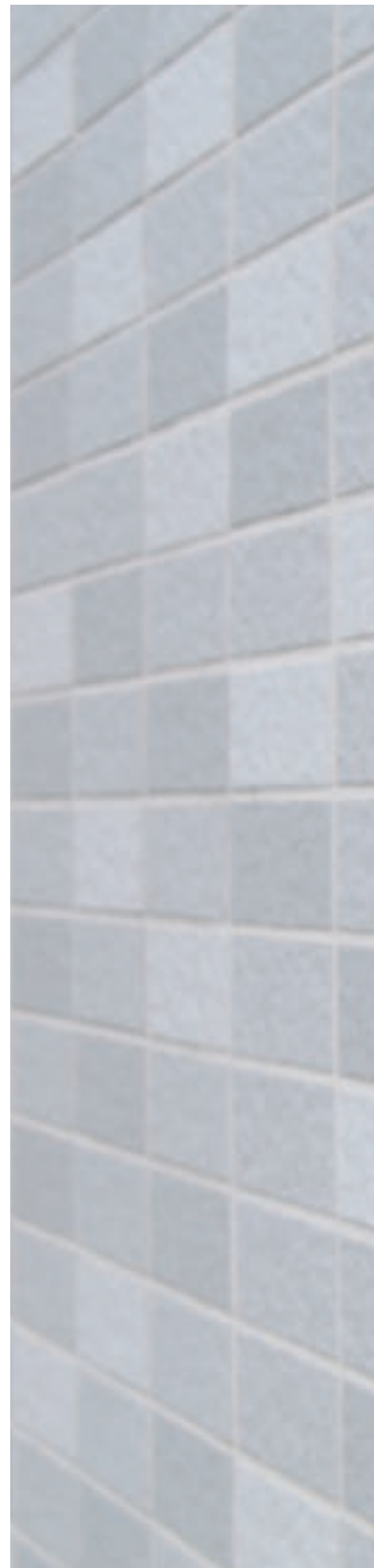
遮熱・断熱塗料

セブンヒートバリアー	24
------------	----

石材裏面処理剤

アマソニックA	27
---------	----

製品ラインナップ・各ページアイコンの説明	29・30
----------------------	-------





※選択可能

セブンSシリーズ

セブンS タイル・コンクリート用 透明防水材料

セブンSS 高耐候性 タイル・コンクリート用 透明防水材料

「セブンSシリーズ」は耐久性に優れた結合材をベースにしている「透明塗膜防水材料」です。耐久性、防水性、意匠性に優れ、タイル張り面及びコンクリート打ち放し面の外観を長期間に亘り維持します。25年以上にわたり多くの実績がある製品です。



適用下地

- タイル ● ガラスブロック ● 打ち放しコンクリート
- 特に意匠性を重要視する建物の内外装

標準塗り工程数

- 3層5工程 (詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

樹脂の種類

- 特殊アクリルエマルジョン樹脂(中塗り)

塗膜の仕上がり

- 透明(艶有・半艶・艶消)

これまでの保護方法と問題点

撥水剤(浸透性吸水防止材)
クリヤートップ



- ・耐久性不足
- ・風化したモルタル、コンクリートに対する保護効果不足
- ・タイル面にひび割れ等が発生すると保護機能は失われる



主なタイル面改修塗装仕上げの品質

<評価> ◎:優 ○:良 △:やや良 ×:不良

仕様	施工性	仕上り性	耐久性	機能性	コスト	特徴
	ローラー塗り吹付け等	タイル意匠質感等	耐水・耐アルカリ耐酸・紫外線等	防水・保護防カビ・防藻等	初期及び耐久コスト	
セブンS セブンSS	○	○	◎	◎	△	美観・耐久・防水
浸透性吸水防止材	◎	◎	△	×	△ ^{※1}	撥水(短期)
アクリルシリコン系クリヤー及び常乾フッ素系クリヤー等	○	○	○	×	△	美観
無塗付	—	△	△	×	× ^{※2}	目地やモルタルの劣化

※1 撥水剤は耐久性が低いため、コストは安いメンテナンスサイクルが短く、仮設足場費がかさみます。

※2 無塗付の場合は施工コスト不要であるが、今後目地モルタルひび割れ、風化強度低下、雨水侵入による不具合などが生じ、施工した場合より高額な補修施工コストが必要になると推定される。

S-T工法施工後10年経過例

施工から10年経過しても劣化が目立ちません。



施工完了



10年経過

施工実績



防水塗料

防汚塗料

防汚塗料

氷点下塗装

遮熱・断熱塗料

石材裏面処理剤

無機有機複合型上塗り材

水性セブンストップHyb2

2022年6月より新登場

耐候性・耐水性を向上した無機ハイブリッド樹脂の「水性セブンストップHyb2」が登場。無機成分を多く配合することで耐候性、耐水性がさらに向上しました。一般的に無機成分を多く配合することで塗膜硬度が上がると、防水材のような弾性の強い下地に追従できずに割れ等の不具合が発生する場合がありますが、弾性の強い原材料を選定することで従来品の上塗りに遜色ない追従性を発現。水系塗料ならではの「臭気による問題」「エコ化に貢献」など塗膜性能以外のメリットもあります。

特長

- 無機成分を多く配合した高い耐候性、耐水性
- 従来品の上塗りに遜色ない追従性

環境に配慮したオール水系システム

水性セブンSシーラーI

セブンSシリーズは環境に配慮し、10年前からオール水系システムを採用。以来多くの現場で水性の実績を有しています。1液シーラー／フッ素トップとの組合せで、現場オール水系・1液での作業性向上と高耐候・高耐久性を実現します。

特長

- 溶剤系には負けない高い耐水性
- ナノカチオン樹脂による高い浸透性

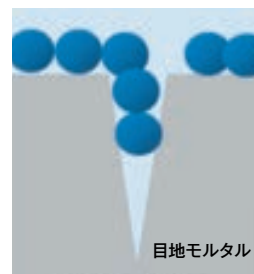
試験項目	試験結果	下地	試験条件等
温冷繰返し作用に対する抵抗性	異常なし	モルタル	ひび割れ、膨れ、剥がれなどがない
	異常なし	タイル	
促進耐候性	異常なし	タイル	変退色、著しい光沢低下がない
付着強度 (N/mm)	標準時	モルタル	0.7以上
	温冷繰返し処理後		0.5以上
	標準時	タイル	—
	温冷繰返し処理後		3.3

JIS A 6909 (複層塗材) の方法を準用した

ナノカチオン樹脂による高い浸透性

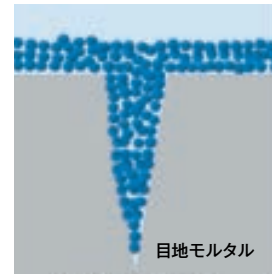
従来のエマルジョン

水性セブンSシーラーI



目地モルタル

粒径が大きく深くまで浸透しない



目地モルタル

粒径が小さく目地モルタルに深く浸透し優れた密着性が得られます

水分の影響を抑え、高い付着力を発現する下塗り材

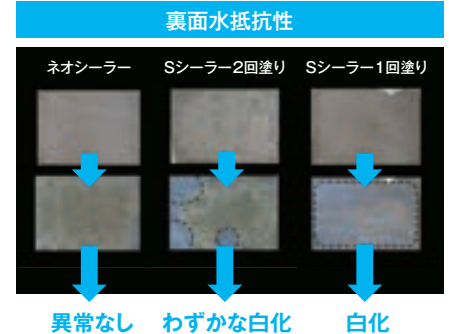
セブンSネオシーラー

塗膜の下地(躯体側から目地モルタルへ)から供給される水分の影響を抑制する高い耐水抵抗性を有した下塗り材です。目地部の白化、膨れ、剥がれ等の不具合を防ぎます。

特長

- 塗膜下地側からの水に対する高い抵抗性
- 白濁しづらくタイル面への高い付着力

	裏面水抵抗性	付着性能 (N/mm)		耐候性		耐水性	温冷繰返し抵抗性
		タイル	モルタル	促進暴露	屋外暴露		
セブンSネオシーラー 1回塗り	○+	2.0以上 (○)	1.5以上 (○)	異常なし (○)	異常なし (○)	異常なし (○)	異常なし (○)
セブンSシーラー 1回塗り	△	2.0以上 (○)	1.5以上 (○)	異常なし (○)	異常なし (○)	異常なし (○)	異常なし (○)
セブンSシーラー 2回塗り	○	2.0以上 (○)	1.5以上 (○)	異常なし (○)	異常なし (○)	異常なし (○)	異常なし (○)



低温から高温まで幅広い立地環境に対応

セブンSS中塗り

アクリルシリコン樹脂を採用することで、従来のセブンS中塗りより防水性、耐候性がさらに向上。セブンSS中塗りを使用することで、低温から高温まで様々な地域環境下や、打ち出しコンクリート、タイル貼り仕上げなど意匠性を大事にしたい外壁面の保護機能・耐久性がさらに向上します。

特長

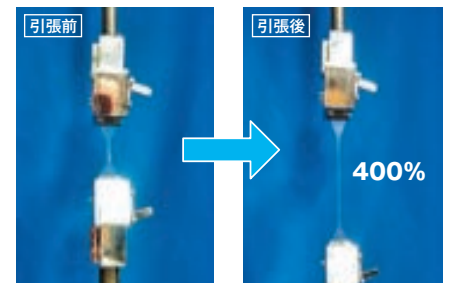
- アクリルシリコン樹脂により防水性向上
- ひび割れ追従性のある伸び率400%
- 低温時での塗膜物性がセブンSの10倍向上

セブンSとセブンSSの引張性能比較

JIS A 6021 建築用塗膜防水材アクリル樹脂系外壁用の性能を満たす

試験		規格値	セブンSS	セブンS
強度 (N/mm)	23℃	1.3以上	2.5	3.0
	-20℃	1.3以上	10	18
	60℃	0.4以上	0.5以上	1
伸び (%)	標線間 23℃	300以上	400	300
	つかみ間 23℃	180以上	250	200
	つかみ間 -20℃	70以上	100	10
	つかみ間 60℃	150以上	250以上	180

セブンSS 標線間(引張試験)



セブンSS中塗り(アクリルシリコン樹脂透明塗膜)の性能

試験項目		試験結果		下地	試験条件等	
		セブンSS	セブンS			
低温安定性		合格	合格	—	かたまり無く均一	
付着強さ 1	(N/mm)	標準時	1.2	1.3	モルタル	0.7以上
		浸水時	1.1	1.1		0.5以上
付着強さ 2	(N/mm)	標準時	2.3	2.2	タイル	—
		浸水時	2.3	2.1		—
温冷繰返し作用に対する対抗性		異常なし	異常なし	モルタル	ひび割れ、膨れ、剥がれなどがない	
		異常なし	異常なし	タイル	—	
透水性 (mL)		0	0	スレート	0.5以下	
促進耐候性	1	異常なし	異常なし	スレート	変退色、著しい光沢低下がない	
	2	異常なし	異常なし	タイル	—	
伸び率 (%)		400	300	—	約0.5mm層 引張り速度200mm/min	
引張り強度 (N/mm)		2.5	3.0	—	約0.5mm層 引張り速度 5mm/min (完全破断までの距離)	
亀裂追従性 (mm)		3.0	2.5	スレート	約0.5mm層 引張り速度 5mm/min (完全破断までの距離)	
中塗り乾燥時間 (h)	指触	0.5	0.5	タイル	JIS K 5600	
	半硬化	8	8			
耐水性	1	異常なし	異常なし	スレート	水に1週間浸液	
	2	異常なし	異常なし	タイル		
耐アルカリ性	1	異常なし	異常なし	スレート	飽和酸化カルシウム液に1週間浸液	
	2	異常なし	異常なし	タイル		
耐酸性		異常なし	異常なし	タイル	5%塩酸に1週間浸液	

標準塗装仕様

標準塗装仕様 塗膜造膜（塗付量）管理 内外装

工 程	材 料 名	希 積（重量%）		塗 り 付 け 量 (kg / m ²)	塗 り 回 数	工 程 時 間 (H)
		セブンSS	セブンS			

■ S-T 工法（RC造・タイル張り仕上げ面）

1	下塗り	セブンSシーラーまたはセブンSネオシーラー	無希積		0.15	1～2	3～168
2	中塗り	セブンSSまたはセブンS	水1～5	水0～3	0.4	1	3～168
3		セブンSSまたはセブンS	水1～5	水0～3	0.2	1	16～168
4	上塗り	セブンSトップM# 30	無希積		0.12	1	2～当日中
5		セブンSトップM# 30	無希積		0.12	1	(最終養生)

■ 塗替用 S-T 工法（RC造・下地タイル張り仕上げ面に既存塗膜がある場合）

1	下塗り	セブンS塗替用シーラー	無希積		0.08	1	3～168
---	-----	-------------	-----	--	------	---	-------

■ S-C 工法 コンクリート打ち放し面（下地の吸い込みが止まり濡れ色になるまでシーラー塗り）

1	下塗り	セブンS コンクリートシーラー-2T	無希積		0.15	1～2	3～168
2	中塗り	セブンSSまたはセブンS	水1～5	水0～3	0.4	1	3～168
3		セブンSSまたはセブンS	水1～5	水0～3	0.2	1	16～168
4	上塗り	セブンSトップM# 30	無希積		0.12	1	2～当日中
5		セブンSトップM# 30	無希積		0.12	1	(最終養生)

※上塗りセブンSトップM# 30は、中塗2層目塗り付け翌日以降に塗りつけてください。また、当日中に2回塗りしてください。

水性 ■ 水性 S-T 工法（RC造・下地タイル張り仕上げ面）

1	下塗り	水性セブンSシーラー-I	水0～3		0.13	1～2	3～168
2	中塗り	セブンSSまたはセブンS	水1～5	水0～3	0.4	1	3～168
3		セブンSSまたはセブンS	水1～5	水0～3	0.2	1	16～168
4	上塗り	水性セブンSトップ	水0～10		0.12	1	2～24
5		水性セブンSトップ	水0～10		0.12	1	(最終養生)

水性 ■ S-C 工法 コンクリート打ち放し面（下地の吸い込みが止まり濡れ色になるまでシーラー塗り）

1	下塗り	セブンS コンクリートシーラー-II	水0～10		0.13	1～2	3～24
2	中塗り	セブンSSまたはセブンS	水1～5	水0～3	0.4	1	3～168
3		セブンSSまたはセブンS	水1～5	水0～3	0.2	1	3～168
4	上塗り	水性セブンSトップ	水0～10		0.12	1	2～24
5		水性セブンSトップ	水0～10		0.12	1	24～最終養生

下塗り材の選定

製品名	適応下地			
	タイル	ガラス	コンクリート	既存塗膜
セブンSシーラー	○	○	△	×
水性セブンSシーラー-I	○	○	△	○
セブンSネオシーラー	◎	×	△	×
セブンS塗替用シーラー	○	△	△	◎
セブンSコンクリートシーラー-2T	×	×	◎	×
セブンSコンクリートシーラー-II	×	×	◎	×

様々な下塗りを展開することで、幅広い下地に対応することが可能となっております。しかし、下地状況、現場状況などにより選定する下塗りが変わる場合があります。特に既存塗膜上部では付着性の確認などを行う必要があるため予めお問い合わせください。

防水塗料

防汚塗料

防汚塗料

氷点下塗装

遮熱・断熱塗料

石材裏面処理剤

製品情報

標準塗装仕様 塗膜造膜(塗布量)管理 内外装

- セブンスを斜壁面に施工される場合、陽射しが強く降雨の滞留時間も長いため不具合進行が速いことから、年一度の点検と不具合部分の補修、更に5~7年程でのトップコート塗り計画してください。
- 一般外壁面も不具合部に気付いた際には早めに補修し、7~10年程度で点検、調査確認しながら10年以降再改修を計画してください。
- シーリング材の打ち替え後、シーリング材の上へは養生するか、見切り、塗装は避けてください。
- 下地の状態により、下塗り材の塗付け量に差異が生じる場合があります。
- 下地の吸い込みが多く、濡れ色にならない部分は、表面乾燥後その部分を増し塗りし、濡れ色を均一にしてください。
- 陶器質や無釉タイルの場合、また、下地がALC、押し出し成形板、斜壁の場合、(弱溶剤系)セブンスネオシーラーを2回塗りしてください。吸込みが多く、濡色にならない部分も含め、当日中に2回塗りまたは部分増し塗りしてください。
- セブンス中塗り2回で最低0.6kg/m²塗り切れれない場合、所定量まで重ね塗りしてください。(十分な塗付量管理)
- 斜壁部は下地の十分な乾燥を確認の上、セブンスSS 中塗り(セブンス)1kg/m²以上を基準にしてください。
- セブンスヨコレガードは、セブンストップ塗装終了後、翌日以降にエアースプレー等で吹き付けてください。
- タイルが接地面から張られている場合、接地面から10cm程、塗装は避けてください。
- 花壇や擁壁など裏面からの湿気供給が予想される部分への塗装は避けてください。
- 上塗りは、水性、溶剤、共に艶有・半艶(溶剤のみ:セブンストップM#30艶消)があります。
- 笠木天端はウレタン防水や、セブンスウォールなど塗膜防水処理してください。
- 笠木カバーが内側防水されてない場合、端部取り合いは風雨での浸水を防ぐためシーリング材で塞いでください。
- 施工前に安全データシート(SDS)を確認してください。

施工方法

- ①下地補修が不十分な場合、目地の白濁や塗膜の耐久性低下の原因となります。
- ②深目地の場合、浅目地に埋め戻し、十分に目地モルタルを乾燥後施工してください。
- ③コンクリート打ち出し面のピンホール(巣穴)、ひび割れ等は、美観性及び防水機能などに影響するため、事前に出来るだけ目立たないように十分補修してください。
- ④タイルの剥離部、浮き箇所、ひび割れ箇所は、事前に張り替え、またはエポキシ注入、シーリング材充填等の補修をする。コンクリート面の欠損およびひび割れシーリング処理面などはポリマーセメントモルタルなどで補修を行うが、その際、周囲の色調、下塗り材の濡れ色になるべく合うようにポリマーセメントモルタルを調整してください。
- ⑤伸縮目地やその他のシーリング材で補修の必要な箇所も十分処理してください。
- ⑥シーリング用プライマーやエポキシ注入材は、経時的に見苦しい黄変むらとなるので、表面に残らないよう処理してください。
- ⑦ワックスや油脂などが表面に付着している場合は、研磨紙ざりおよびシンナー拭き等によって除去してください。
- ⑧目地部、ひび割れ部などから白華物流下(エフロレッセンス)は、硬質ブラシやスクレーパー、へらなどで出来るだけ除去し、微酸性液(希塩酸、しゅう酸等)で洗浄除去後、酸性物質が残らないよう十分に水洗乾燥する。なお、微酸性液で目地モルタル、タイル裏面モルタル及びその他のセメントモルタル、コンクリート面の劣化、強度低下を生じさせないように十分注意してください。
- ⑨かびや藻などの微生物を生じている場合は、アルコール液等で殺菌処理及び除去してください。
- ⑩塵埃や付着異物などの汚染物は、セブンスクリーナー等を用い高圧水洗浄で除去してください。
- ⑪水洗後のタイル・目地面を十分に乾燥させてください。
- ⑫二液反応硬化形の材料は、指定された比率で調整してください。基剤と硬化剤の比率が適切でない場合、硬化剤の入れ忘れなどにより、塗膜が完全密着硬化せず、経時的に不具合を発生することがあります。
- ⑬中塗りをローラーで塗り付ける場合、何度もシゴキ塗りをする、中塗りに気泡が入り、白ぼけの原因になります。できるだけ気泡が混入しないよう塗付けてください。
- ⑭ローラーパターンの方向を事前に打ち合わせ、一定方向にしてください。
- ⑮上塗り材は中塗り塗付翌日以降、乾燥硬化を確認し1日に2回塗りをしてください。(溶剤型トップ)
- ⑯施工の際には、仕様工法に施工要領書をご確認の上、不明点については営業にお問い合わせください。

使用製品と荷姿

☆セブンスシーラー	14kgセット/4kgセット
☆セブンスコンクリートシーラー-2T	14.22kgセット/4.063kgセット
◎セブンスネオシーラー	12.5kgセット/3.13kgセット
水性セブンスシーラー-I	15kg/4kg
セブンスコンクリートシーラー-II	11kgセット/3.3kgセット
◎セブンス塗替用シーラー	12kgセット/3kgセット
セブンスSS	14kg/4kg
セブンスS	14kg/4kg
◎セブンスストップM#30 艶有 半艶 艶消	12kgセット/3kgセット
セブンス-Fトップ用骨材のみ	0.5kg/0.125kg
水性セブンスストップ 艶有 半艶	11kgセット/3.3kgセット
水性セブンスストップFu -I 艶有 半艶	15kg/4kg
水性セブンスストップHyb2 艶有 半艶 艶消	11kgセット/3.3kgセット
◎セブンスストップM#30 シンナー	16ℓ/4ℓ
セブンスヨコレガード	16ℓ/4ℓポリ缶
セブンスクリーナー	4ℓポリ缶
☆セブンスファンデクリヤー-I	1kg缶

☆=強溶剤塗料 ◎=弱溶剤塗料

施工上の注意

- 居室等内装で使用する場合、塗装時や塗料取り扱い時には通気換気を十分に行ってください。

施工時の気象条件(以下のような条件の時は施工を避けてください)

- 気温5℃以下、30℃以上、湿度80%RH以上の時。
- 施工時及び改修仕上げ材の乾燥硬化過程で凍結や降雨のある場合、または予想される時。
- 結露、霧、雪、霜等水分の影響が施工前後で予想される時。

注意事項

- 下地側に湿気が長期間介在すると、セブンス塗膜が目地モルタル及びタイル面で白濁する場合があります。
- 使用塗装材料は、直射日光、風雨を避けて屋内で保管してください。
- セブンスシーラー、セブンスコンクリートシーラー-2T、セブンス塗替用シーラー、セブンスストップM#30各種、セブンスヨコレガード、セブンスファンデクリヤー-I、二液硬化剤は、溶剤系塗料ですので、狭い場所での換気に注意して、防毒マスクなどの対策をしてください。引火性がありますので火気厳禁です。

セブンウォールシリーズ

セブンウォール

セブンウォールシーラーレス 改修専用アクリルゴム系 壁面防水材料

防水性に優れた高耐久アクリルゴム系樹脂を多く含むセブンウォールは、壁面の損傷劣化に対する緩衝材として長期に渡り外装を保護。建物の長寿命化と維持コストの低減、住宅の財産価値の維持向上が図れます。半世紀にも及ぶ実績が、その信頼性を証明しています。



防水塗料

防汚塗料

防汚塗料

氷点下塗装

遮熱・断熱塗料

石材裏面処理剤

建築用塗膜防水材料

セブンウォール

適用下地

- コンクリート面
- モルタル仕上げ面
- ALCパネル面など各種セメント系成型パネル
- 各種既存塗装面
- タイル張り仕上げ面

標準塗り工程数

- 3層5工程
(詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

樹脂の種類

- アクリルゴム系(主材)
- アクリルシリコン樹脂(上塗り)

塗膜の仕上がり

- 着色仕上げ(日本塗料工業会合わせ)
- なみがた仕上げ
- 吹付け仕上げ
- 凹凸仕上げ

セブンウォールはアクリルゴムを主成分としており、長期間躯体の亀裂に追従することで高い防水性が得られ、塗装面へのひび割れの心配がなく、厳しい自然条件でも安定した性能を保ち続けます。気密性も高く、炭酸ガス等の有害因子による下地の中性化防止及び塩害に対する遮断性能に優れています。

また、セメント系各種材料への接着性が良く、新設から改修まで、さらに経年で老朽化したタイル張り仕上面等、幅広い塗装仕様で躯体を厳しい劣化外力から守り、美観を維持します。

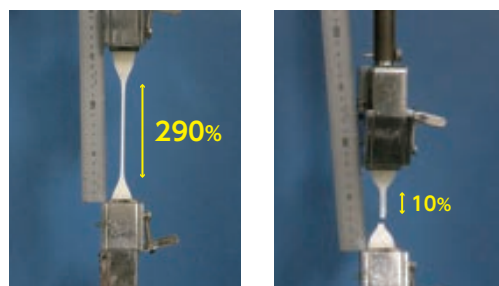
特長

- 厳しい自然条件の中でも**安定した性能**
- **気密性が高く、中性化防止および塩害に対する遮断性に優れています**
- 高耐候性上塗り材との組み合わせで**長期間美装性を維持**
- 環境に配慮した**完全水系システム**

外部要因に対する遮断機能

	透水性 (mL)	気密性 (cc/m・mmHg)	遮塩性 (cm/sec)
セブンウォール	0.0~0.1	2.9×10^{-4}	1.4×10^{-11}
コンクリート	72	1.4	6.0×10^{-8}
コンクリート相当厚み	720mm	3~5m	1~4.3m

つかみ間の伸び率(23°C)性能比較



セブンウォール

微弾性フィラー

セブンウォールの性能

JIS A6021 建築用塗膜防水材 外壁用アクリルゴム系性能試験に準拠

試験項目		規格値	試験結果		
引張性能	引張強さ(N/mm)	試験時温度 23℃	1.3以上	1.9	
		試験時温度 -20℃	1.3以上	5.8	
		試験時温度 60℃	0.40以上	1.9	
	破断時の伸び率(%)	試験時温度 23℃	300以上	530	
		破断時のつかみ間の伸び率(%)	試験時温度 23℃	180以上	290
			試験時温度 -20℃	70以上	100
試験時温度 60℃	150以上	270			
引裂性能	引裂強さ(N/mm)	6.0以上	12		
加熱伸縮性能	伸縮率(%)	-1.0以上	-0.7		
		1.0以下			
劣化処理後の引張性能	引張強さ比(%)	加熱処理	80以上	116	
		促進暴露処理	80以上	125	
		アルカリ処理	60以上	121	
	破断時の伸び率(%)	加熱処理	200以上	460	
		促進暴露処理	200以上	240	
		アルカリ処理	200以上	330	
伸び時の劣化性能	加熱処理	いずれの試験片にも ひび割れ及び著しい変形が あってはならない	異常なし		
	促進暴露処理		異常なし		
	オゾン処理		異常なし		
付着性能	付着強さ(N/mm)	無処理	0.70以上	1.1	
		温冷繰返し処理後	0.50以上	0.84	
耐疲労性能		いずれの試験片にも塗膜の穴あき・裂け・破断が あってはならない	異常なし		
たれ抵抗性能	たれ長さ(mm)	いずれの試験体も3.0以下	たれなし		
	しわの発生	いずれの試験体にもあってはならない	異常なし		
固形分(%)		表示値±3.0	71.5		

その他注意事項

- セブンウォールシーラー#200、セブンSシーラー、セブンウォールトップMSマイルドは溶剤系のため火気に十分注意し、室内に保管してください。
- 水性セブンウォールシーラー、セブンHBアトラスシーラー、水性セブンウォールトップ W-SSは凍結に注意し、室内に保管してください。

廃棄方法

- 法規に従って、都道府県の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。

荷姿

	製品名	入目	液型	種類	
下塗り材	セブンウォールシーラー#200	16kg	1液型	強溶剤	
	水性セブンウォールシーラー	15kg	1液型	水性	
	セブンSシーラー	14kgセット	2液型 (基剤13kg/硬化剤1kg)	強溶剤	
		4kgセット	2液型 (基剤3.72kg/硬化剤0.28kg)	強溶剤	
下地挙動緩衝材	スーパーセブン	6kgセット (3kg×2セット)	1液型	水性	
中塗り材	セブンウォール	主材	18kg	1液型	水性
上塗り材	セブンウォールトップMSマイルド	14kgセット	2液型 (基剤12kg/硬化剤2kg)	弱溶剤	
		3.5kgセット	2液型 (基剤3kg/硬化剤0.5kg)	弱溶剤	
	水性セブンウォールトップ W-SS	15kg	1液型	水性	
		4kg	1液型	水性	
	セブンウォールトップMSマイルドシンナー	16L	1液型	弱溶剤	
		4L	1液型	弱溶剤	

標準塗装仕様・製品情報

セブンウォールの標準塗装仕様 (外装塗付量管理)

工法	工程	事前調査 (下地調査を十分に行い、施工条件に沿って作業してください)						
共通 下塗り 種類	1つ選定		希釈 (重量%)	所要量 (kg/m ²)	工程時間	使用器具		
	1	水性1液	水性セブンウォールシーラー	清水0~3	0.15	2~168 (塗剤シーラーの増塗・ 2回塗は当日中)	ローラー (中毛) スプレー 刷毛など	
		強溶剤	セブンウォール#200シーラー	無希釈				
		水性1液 (タイル面)	セブンHBアトラスシーラー	清水0~10				
		強溶剤2液 (タイル面)	セブンSシーラー	無希釈				
※ ¹	2	下地拳動緩衝材	スーパーセブン	無希釈	0.5以上	3以上	多孔質ローラー・刷毛	
※ ²	3	増し塗り	セブンウォール主材	0~2	0.5~1.0	3以上	多孔質ローラー・刷毛	
主材塗り	平吹き 仕上げ	4	基層吹き	セブンウォール主材	清水1~3	1.0	5~168	万能ガン・リシンガン
		5	基層吹き	セブンウォール主材	清水1~3	1.0	16~168	
	なみ型 仕上げ	4	基層塗り	セブンウォール主材	清水1~3	1.0	5~168	多孔質ローラー粗目 (赤色)
		5	基層塗り	セブンウォール主材	清水1~3	1.0	16~168	
	共通 上塗り	6	標準型水性1液	水性セブンウォールトップW-SS	清水0~20	2回塗り 計0.3	3~168 当日 2回塗り	スプレー ローラー (中毛) 刷毛など
7		標準弱溶剤2液	セブンウォールトップMSマイルド	MSマイルドシンナー 0~20				

- 下塗りは下地の状態により所要量が変わります。吸込の大きい場合は、増塗りまたは2回塗りしてください。
- 基層吹きにはリシンガン、万能ガン3~5ミリ (口径)
- セブンウォール主材塗りは、所定の厚みが確保できるよう、多孔質ローラー粗目 (赤色) によりダレ、ピンホール、及び塗り直しのないよう塗り付ける。
- 水性上塗りは淡彩色で承ります。中濃彩色・濃色は溶剤型をお願いします。
- セブンウォールトップの希釈はローラー0~10% (WT) 吹付0~20%です。
- ※¹ 下地拳動緩衝材はひび割れ幅0.2mm~2mm未満とし、ひび割れをまたぎ左右50mmの幅で端部から延長50mm以上を段差のないように塗り付けてください。
- ※² 増塗りを行う部位はプレキャストコンクリート、ALC版などの継手目地、建具回り、貫通部回りなどの防水上重要な部位、出隅、入隅、目地部など膜厚の薄くなりやすい部位、開口部回りなどのひび割れが発生しやすい部位、下地の動きが激しい部位です。

施工上の注意

1. 施工条件

- 気温5℃以下、湿度80%以上の施工は、造膜性に支障をきたすことがありますので、施工は避けてください。
- 新設下地の乾燥期間は4週間以内とし、表面を十分乾燥させるとともにアルカリ度PH10以下になってから施工してください。
- 降雨、降雪、結露のおそれのある時は施工を避けてください。
- 強風の時は作業安全及び飛散防止のため、原則的に施工は避けてください。
- 各作業前には必ず、十分な下地乾燥を確認してください。

2. 下地調整

- 下地は十分に乾燥させて、下地表面に付着している塵埃その他セメントノロ、エフロ粉、型枠離型剤等は除去してください。
- 下地の不陸や豆板等の段差やピンホールは、サンダー掛け、段差修正等を行って下地を平滑にしてください。
- 改修の場合、既存下地の老朽化した部分及び脆弱な部分は除去し、凹部、ひび割れ等を補修し、施工してください。

3. 養生

- 養生は十分行ってください。

4. 施工前の注意

- 居室等内装で使用する場合、塗装時や塗料取扱い時には通気換気を十分に行ってください。
- 施工に入る前に試験吹きを行い、パターン、色を十分に確認してください。
- 下塗材、上塗材に溶剤系材料を使用する場合、施工時は保護具等を着用し、安全には十分に注意してください。
- この製品を取り扱う前に、必ず安全データシートをお読みください。

5. 下塗り

- 下地の吸込みムラを防止し、下地と主材との接着をより強固にするために、下地に合わせシーラーを選定し、下地面に均一に十分塗付けてください。
- 塗付量は、下地の吸込み状態により変動いたしますが、吸込みが大きい時は下塗りを再塗装し、接着不良・パターンムラなどを防止してください。(溶剤系シーラーの増し塗り、2回塗りは当日中にしてください。)

6. 主材塗り

(A) 基層塗り

- セブンウォール主材を1.7~2.0kg/m²均一にムラなく塗付けします。基層塗りでの塗膜は防水層としての機能を果たせるもので、十分塗付け量に注意し均一に仕上げてください。
- 建物のコーナ部分等の均一塗付けが難しい部分は、あらかじめ刷毛塗り等を行い、十分な塗膜厚を確保してください。

(B) 模様塗り

- 基層塗り面を乾燥させた後、パターンを形成するためセブンウォール主材を規定量塗付けてください。
- 模様塗りは、パターンによって施工具・塗付具・希釈量が異なります。
- 開缶後は上下層を攪拌機で気泡の入らないよう均一に混合しご使用ください。

7. 上塗り

(A) 水系上塗り

- 水性セブンウォールトップW-SSは主材層の汚れを防ぎ、美観を保持するために使用します。水性セブンウォールトップW-SSはダレ・ムラなどに注意して、エアレススプレー・ローラー・刷毛等で均一に規定量を2回塗りして仕上げてください。
- 水性セブンウォールトップW-SSはローラー施工の場合、清水で0~10%、エアレススプレーの場合0~20% (重量比)、吹き付けの場合0~20%を加えて均一に攪拌した後、2回塗りで合計塗付量0.30kg/m²を使用して仕上げてください。

(B) 溶剤系上塗り

- セブンウォールトップMSマイルドは主材層の汚れを防ぎ、美観を保持するために使用します。セブンウォールトップ各種は、ダレ・ムラなどに注意し、エアレススプレー・ローラー・刷毛等で均一に規定量を2回塗り仕上げてください。所定の基材/硬化剤比率で混合後ローラー塗りの場合0~10%、スプレー吹きの場合0~20%、シンナー (重量比) を加えて均一に攪拌した後、当日2回塗りで合計塗付量0.30kg/m²を使用して仕上げてください。特に上塗り1回目に希釈を少なくして塗装しますと、施工時及び経時後、発泡現象を生じやすいので注意してください。

セブンウォールシーラーレス

適用下地

- 各種既存塗装面

樹脂の種類

- アクリルゴム系(主材)
- アクリルシリコン樹脂(上塗り)

標準塗り工程数

- 2層4工程
(詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

塗膜の仕上がり

- 着色仕上げ(日本塗料工業会合わせ)

セブンウォールシーラーレスシステムは、高弾性塗膜を形成することで建物への雨水の侵入を長期にわたり防ぎます。

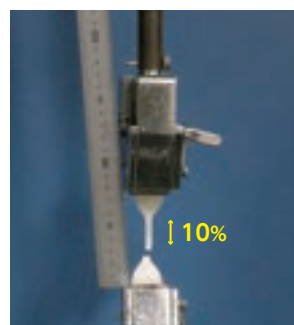
建築用塗膜防水材料(JIS A6021)相当の主材と高耐候、低汚染の上塗り材を組み合わせることで建物の防水性、美観性を長期間付与できます。

特長

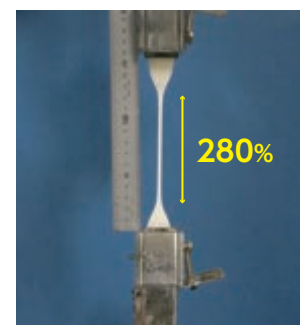
- 高耐久性の保護膜で建物のライフサイクルコストを低減
- 下塗り不要で工期短縮
- オール水系で環境負荷を低減、低汚染で建物の美観を長期間保持
- 優れた伸縮性保護層

性能比較伸張性試験

一般的な微弾性フィラー



セブンウォールシーラーレス



適用下地

さまざまな種類の下地に密着します。

旧塗膜種類	付着強さ (N/mm ²)	規格
単層弾性	1.7~1.9	0.7N/mm ² 以上(JIS A6909)
アクリルリシン	1.3~1.6	
溶剤型アクリルウレタン(2液)	1.9~2.1	
溶剤型アクリルシリコン(2液)	1.7~1.9	

高耐候・低汚染上塗り

天候や環境による汚染に強く、建物をきれいに保ちます。

試験項目	規格	性能
耐候性B法(耐候性1種)	照射時間2,500時間で塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率は80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり白亜化の等級が1以下であること。	合格
温冷繰り返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格
防藻性	藻の発生が認められない。(社内試験)	合格
防かび性	試験又は、試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。(社内試験)	合格

標準塗装仕様・製品情報

標準塗装仕様

■ 防水工法 水性なみがた仕上げ (4工程)

工程	使用材料	希釈	塗付量	工程時間	施工方法
下地調整					
埃・油分などの除去					
1	セブンウォールシーラーレス (防水層)	水道水 0~5%	1.0kg/㎡	5以上~72以内	多孔質ローラー等
2			1.0kg/㎡		
計		中塗り合計	2.0kg/㎡		
3	水性セブンウォールトップW-SS (水性1液上塗り)	水道水 0~10%	0.15kg/㎡	5以上~最終24以上	ウールローラー等
4			0.15kg/㎡		
計		上塗り合計	0.3kg/㎡		

※上塗り材には、セブンウォールトップMSマイルド(弱溶剤系2液型)を別途ご用意しております。現場条件に合わせ選定してください。

※材料、工法詳細につきましてはSDS、施工要領書をご参照ください。

※既存塗膜がセブンウォールの場合は3工程仕上げも可。

注意事項

- 気温5℃以下、35℃以上、湿度80%以上の時は施工を避けてください。
- 上塗り材に溶剤系塗料を使う場合、施工時に保護具を着用し、溶剤による中毒を起さないよう十分注意してください。
- 降雨・降雪・結露のおそれのある時は施工を避けてください。
- 養生テープは、端部をナイフでカットし、剥がしてください。
- 使用材料は風雨・直射日光を避け、常温保管を心がけてください。
- 水性材料の保管は0℃以上の場所で保管してください。
- 強風の時は作業安全飛散防止のため、原則的に施工は避けてください。
- 各作業前には必ず十分な下地乾燥を確認してください。
- 居室等内装で使用する場合、塗装時や塗料取扱い時には通気換気を十分に行ってください。
- 施工に入る前に試験吹きを行い、パターン、色を十分に確認してください。
- この製品を取扱う前に必ず、施工要領書と安全データシートをご一読ください。

荷姿

	製品名	入目	液型	種類
下塗り材	スーパーセブン下塗り	1kg	1液型	水性
下塗り材 緩衝材	スーパーセブン	3kg	1液型	水性
中塗り材	セブンウォールシーラーレス	16kg	1液型	水性
上塗り材	セブンウォールトップMSマイルド	14kgセット	2液型 (基剤12kg/硬化剤2kg)	弱溶剤
		3.5kgセット	2液型 (基剤3kg/硬化剤0.5kg)	弱溶剤
	水性セブンウォールトップ W-SS	15kg	1液型	水性
		4kg	1液型	水性
	セブンウォールトップMSマイルドシンナー	16L	1液型	弱溶剤
4L		1液型	弱溶剤	



防水塗料

防汚塗料

防汚塗料

氷点下塗装

遮熱・断熱塗料

石材裏面処理剤

サイディング用保護透明塗膜 セブンサイディングコート

長期にわたる紫外線、温冷繰り返し、雨水、塵埃、炭酸ガス、風、振動などの影響によって、汚染物の付着、塗膜表面の白亜化、ひび割れ、シーリング部剥がれなど、サイディングボード面に経年とともに各種劣化現象がみられ、高級サイディングボード表面の適切な補修は、重要になってきております。



適用下地

- サイディングボード

標準塗り工程数

- 3層4工程
(詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

樹脂の種類

- アクリルシリコン樹脂

塗膜の仕上がり

- 透明(3分艶程度)

特長

- サイディングボード表面の高級な意匠性をそのまま生かせる透明塗膜
- 弾性を有する厚膜透明塗膜で外壁からの雨水侵入を防ぐ
- アクリルシリコン樹脂をベースとした高耐候性システム
- オール水系システムで安全性の高い環境対応型コーティング材料

標準塗装仕様・製品情報

標準塗装仕様

工程	使用材料名	希釈 (%)	塗分量 (kg/m ²)	工程時間 (時間)	塗装方法	
1	下塗り	水性サイディングコートシーラー	水道水 0~10	0.12~0.15	3以上24以内	中毛ローラー
2	主材塗り	水性サイディングコート	水道水 1~5	0.5~0.7	16以上	標準目砂骨ローラー
3	上塗り	水性サイディングコートトップ	無希釈	0.12~0.15	3以上24以内	中毛ローラー
4		水性サイディングコートトップ	無希釈	0.12~0.15	24以上 (最終養生)	中毛ローラー

- 下地の状態により塗分量に差異を生じることがあります。
- 深い溝状のスリット部位では、乾燥ひび割れを起こす場合がありますので、事前に刷毛で拾い塗りをしてください。

施工方法

- 下地ごしらえ
 - 下塗り(水性サイディングコートシーラー)を塗る前に、下地ごしらえを十分行ってください。
 - シーリング材等補修の必要な箇所は、十分に処理してください。やむをえず、シーリングの上に塗布する場合は、2液型アクリルシリコンをおすすめします。
 - かびや藻などの微生物汚染が生じる場合は、アルコール液などで処理してください。
 - 塵埃や付着異物などの汚染物は、安全性の高い洗剤を用い、高压洗浄(150kgf/cm²以上)で洗い流してください。
 - 水洗後のサイディングボード下地を十分に乾燥してください。
- 水性サイディングコートシーラー塗り
中毛ローラーにより、塗り残しや塗りむらのないよう、均一に所定量を塗付してください。
- 水性サイディングコート塗り(水道水1~5%希釈)
 - 水性サイディングコートは、気泡が混ざらないよう低速で均一に攪拌してください。
 - 標準目砂骨ローラーにて、配り塗り、均し塗り、仕上げ塗りをして均一に仕上げてください。
※ローラーの運び回数を少なくし、気泡混入を防ぎます。
- 水性サイディングコートトップ塗り
 - 水性サイディングコートトップの基材/硬化剤は、10:1とし、ハンドミキサー等で均一によく混合、無希釈で塗付してください。
 - 中毛ローラーにより、塗り残しのないよう、均一に塗布してください。
 - 1回目のトップコートが十分に乾燥してから、2回目を塗り残しのないよう均一に塗付してください。

水性サイディングコートの性能

試験項目	試験結果	
低温安定性	異常なし	
付着強さ	標準時 1.8	
N/m ²	浸水時 1.0	
温冷繰り返し作用に対する抵抗性	異常なし	
透水性(ml)	0.0	
耐衝撃性	異常なし	
促進耐候性	異常なし	
伸長性 (%) 膜厚約1mm	400	
引張り強度 N/m ²	2.5	
亀裂追従性(mm)	3.0	
主材乾燥時間	指触	0.5時間
	硬化	16時間
耐水性	異常なし	
耐アルカリ性	異常なし	

荷姿

	製品名	入目	液型	種類
下塗り材	水性サイディングコートシーラー	15kg/4kg	1液型	水性
主塗り材	水性サイディングコート	14kg/4kg	1液型	水性
上塗り材	水性サイディングコートトップ	11kgセット	2液型 (基剤10kg/硬化剤1kg)	水性
		3.3kgセット	2液型 (基剤3kg/硬化剤0.3kg)	水性

注意事項

- 気温5℃以下、35℃以上、湿度80%以上の時は施工を避けてください。
- 施工時および改修仕上げ材の乾燥硬化過程で降雨のある場合や降雨が予想される時は施工を避けてください。
- 結露、霧、雪、霜など水分の影響が施工前後に予想される場合は施工を避けてください。
- 直射日光、風雨を避けて室内で保存してください。
- この製品を取扱う前に必ず、施工要領書と安全データシートをご一読ください。

木材用透明塗膜

セブンコートN

セブンコートNは、木材意匠をそのままに木材を長く保護する防水型透明コーティング材です。伸縮性に優れた厚膜型の塗膜が、木材の膨張収縮および木材素地のひび割れに追従し、雨水や腐食細菌の侵入を防ぐことで、木材を変色、腐朽等から保護します。また、透明性の高い塗膜を用いているため、木の風合いをそのまま外観に現すことが可能です。



適用下地

- 木材

標準塗り工程数

- 3層5工程
(詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

樹脂の種類

- 中塗り 水性アクリルシリコン樹脂
- 上塗り 水性フッ素樹脂

塗膜の仕上がり

- 透明

特長

- 木肌そのままの美匠
- 耐久性の良い水性アクリルシリコン樹脂を使用
- 木材の動きに追従する柔軟な透明厚膜
- 全工程水仕上げ・全工程1液材料
- 下塗りは抗菌・防かび有効成分配合

主な品質

項目	性能	備考	
耐水性	良好	7日浸水	
付着性	良好	付着性（クロスカット法）	
伸縮性	伸び率	400%	300以上 1.3以上 JIS A 6021 (外壁防水材)
	強度	2.5 (N/mm ²)	
亀裂追従性	4.5	下地ひび割れに対する追従性	
耐久性	良好	屋外暴露1年（継続中）	

標準塗装仕様・製品情報

塗装仕様

工程	使用材料	希釈 (重量%)	塗付量 (kg/m ²)	工程時間 (時間)	施工方法	
1	下塗り	セブンコートNシーラー	水 (無希釈)	0.12~0.20	3以上24以内	中毛ウールローラー
2	中塗り(1)	セブンコートN中塗り	水 (0~3)	0.6~0.8	3以上168以内	細目砂骨ローラー
3	中塗り(2)				16以上168以内	細目砂骨ローラーまたは 中毛ウールローラー
4	上塗り(1)	セブンコートNトップ (半艶・艶有)	無希釈	0.20~0.30	2以上168以内	中毛ウールローラー
5	上塗り(2)				24以上 (最終養生)	

注意事項

- 木材下地：塗装前に十分乾燥させてください。
- 下塗り：所定量を塗り残し及び塗りむらのないように塗装してください。
- 増し塗り：①出隅及び露出した小口等は中塗り前に中塗り材を増し塗りまたは充填塗りしてください。なお、入隅及び小口を含む突き付け部は、専用透明シール材を充填し、表面ならししてください。
②木の節、釘頭等もたっぷり中塗り材で増し塗りしてください。
- 中塗り：①塗装しやすいように0~3%水希釈、混合してご使用ください。
②防水性を発揮させるため、所要量を守って塗装してください。
③2回塗りです。
- 上塗り：耐久性を発揮するため、所要量を2回塗ります。
- その他：①施工時は、他所に飛散ないように養生を十分に行ってください。
②施工に関して、安全データシート(SDS)をご確認ください。

荷姿

	製品名	入目
下塗り	セブンコートNシーラー	15kg/4kg缶
中塗り	セブンコートN中塗り	14kg缶/4kg缶
上塗り	セブンコートNトップ(半艶・艶有)	15kg/4kg缶

施工時の気象条件

- 以下の条件の時は施工を避けてください。
- 気温5℃以下、湿度80%RH以上の時。
 - 施工時の乾燥硬化過程で凍結や降雨のある場合、または予想される時。
 - 結露、霧、雪、霜等水分の影響が施工前後で予想される時。

ホゴコンエース

「ホゴコンエースMS-F」は、特殊アクリルシリコン樹脂に防滑機能を付与した床用表面仕上げ材です。一般的な建物内外の床に用いられているタイル類・コンクリート・モルタル・セメント系の成形版などに加え、床張りのスポットライトガラス面への塗装も可能ですので、床面の意匠性を損なうことが少なく防滑機能を有しています。



適用下地

- コンクリート(モルタル面) ● 磁器タイル面
- 石材(※レンガ・大理石への施工はできません)

標準塗り工程数

- 1層2工程 または 骨材吹き付け3工程
(1回目と2回目の工程間隔は2時間以上とし、当日中に2回塗りして仕上げてください。)
(詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

樹脂の種類

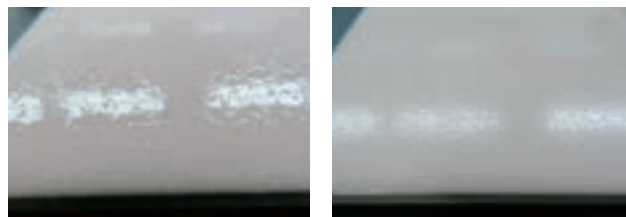
- 特殊アクリルシリコン樹脂

塗膜の仕上がり

- 透明(艶有・艶消) ※半艶はありません

特長

- 特殊透明硬質骨材を使用、
美観を損なわない滑り止め
- 優れた耐久保護性能で塩害、凍害、
白華などから保護
- 転倒防止のハード骨材タイプと
防汚性も付与したソフト骨材タイプ
- 長期にわたり優れた撥水性



ハード骨材 艶有

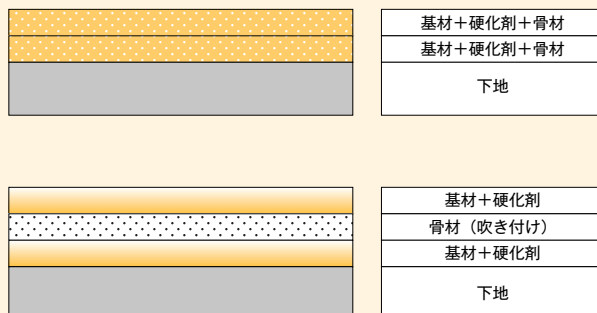
ソフト骨材 艶有

骨材の種類	凹凸	清掃作業性 (日常的な清掃)
ハード	◎	○
ソフト	○	◎

「ホゴコンエースMS-F」標準施工方法

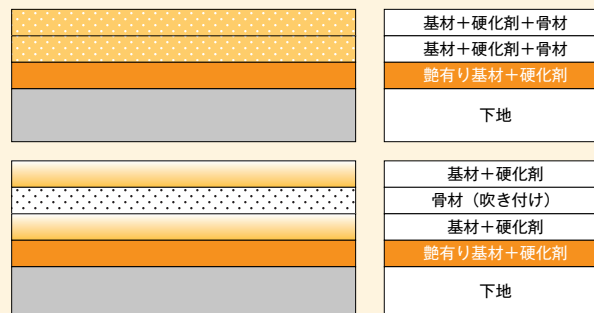
下地調整	下地補修・洗浄を十分に行い、油・エフロ等の除去を行う。				
使用材料	調合比	希釈率	使用量	塗装回数	塗装方法
ホゴコンエースMS-Fハード骨材	13:1:1	0~20%	0.14~0.16kg/㎡	2	ローラー等
ホゴコンエースMS-Fソフト骨材					

吸い込みのない下地の場合



吸い込みのある下地の場合

※艶有り基材+硬化剤(30~50%希釈)を吸い込み止め(自止め液)に使用してください



標準塗装仕様・製品情報

標準塗装仕様

工程	使用材料	塗付量	工程間隔	使用器具
----	------	-----	------	------

■ 一般屋内外：コンクリート・モルタル面・タイル面・御影石・砂岩面等（当日中2回塗り）

1	ホゴコンエース MS-F（基材+硬化剤+骨材）	0.14 ~ 0.16kg/㎡	2時間以上	入隅：刷毛
2		0.14 ~ 0.16kg/㎡	24時間以上	平端：短毛・中毛ローラー

■ 不特定多数の歩行がある屋外：コンクリート・モルタル面・タイル面・御影石・砂岩面等（当日2回塗り）

1	ホゴコンエース MS-F（基材+硬化剤）	0.14 ~ 0.16kg/㎡	追いかけ	入隅：刷毛 平端：短毛・中毛ローラー
2	専用骨材吹き付け	0.02 ~ 0.03kg/㎡	2時間以上	低圧温風ガン またはカップガン
3	ホゴコンエース MS-F（基材+硬化剤）	0.14 ~ 0.16kg/㎡	24時間以上	入隅：刷毛 平端：短毛・中毛ローラー

■ 下地の吸い込みが大きい場所：コンクリート・モルタル面・タイル面・御影石・砂岩面等（当日中塗り）

吸い込み止め ※注)	ホゴコンエース MS-F（艶有基材+硬化剤+専用シンナー）	状況に応じて	2時間以上	入隅：刷毛 平端：短毛・中毛ローラー
1	ホゴコンエース MS-F（基材+硬化剤+骨材）	0.14 ~ 0.16kg/㎡	2時間以上	入隅：刷毛 平端：短毛・中毛ローラー
2	ホゴコンエース MS-F（基材+硬化剤+骨材）	0.14 ~ 0.16kg/㎡	24時間以上	入隅：刷毛 平端：短毛・中毛ローラー

注) 吸い込みの大きい下地へ施工の場合、「ホゴコンエース MS-F 艶有」の骨材抜きを「ホゴコンエース MS-F 専用シンナー」で30～50%希釈したものを使用して吸い込み止めが必要です。
注) 中毛ローラーを使用するとローラー筋が出やすくなります。

荷姿

製品名	ホゴコンエース MS-F（艶有/艶消）			
	ハード骨材		ソフト骨材	
骨材種類（ハード・ソフト）	ハード骨材		ソフト骨材	
製品入り目（kg）	15kgセット	3.75kgセット	14.08kgセット	3.52kgセット
ホゴコンエース MS-F 基材	13kg	3.25kg	13kg	3.25kg
ホゴコンエース MS-F 硬化剤	1kg	0.25kg	1kg	0.25kg
ホゴコンエース MS-F 専用骨材	1kg	0.25kg	0.08kg	0.25kg
標準施工面積	30 ~ 50㎡	7.5 ~ 12.5㎡	30 ~ 50㎡	7.5 ~ 12.5㎡

施工上の注意

- ホゴコンエース MS-F は、当日2回塗り仕上げです。
- 基材：硬化剤：骨材の混合比率は骨材の種類（ハードまたはソフト）により異なります。予め施工要領書での確認をお願いします。
- 吸い込みの大きい下地へ施工の場合、「ホゴコンエース MS-F 艶有」を骨材抜きにして「ホゴコンエース MS-F 専用シンナー」を使用し、30～50%希釈したもので捨て塗りが必要になります（塗膜の白ムラの防止）。
- 施工面積の広い場合、予め歩行動線を考慮しながら施工方法を決めてください。
- 施工前に必ず安全データシートをご確認ください。

注意事項

- 気温 5℃以下、35℃以上、湿度 80%以上の時は施工を避けてください。（下地温度が 30℃以上も含む）
- 下地にワックス・油分の有る箇所はワックスリムーバーやシンナーを用い十分に除去し、必要に応じ水洗いし、乾燥させてください。
- 下地タイルに既存コーティングが施されている場合は、除去してください。
- 施工当日、塗装面が汚れている場合には、掃き出し・ブロー・シンナーなどで清掃し塗装面の養生処理を済ませてから本施工に入ってください。
- 骨材は十分に攪拌してから塗装してください。特にハード骨材は沈殿しやすいので、塗り付けるたびにローラーバケットの底に沈んだ骨材をローラーで攪拌し、巻き上げながらローラーに絡めて塗付してください。
- ハード骨材は塗り延ばしづらいので、狭い範囲でムラ切りしながら塗り進んでください。
- 材料を取り扱う場合、手袋、マスク、メガネ等の保護具を使用し、安全に留意して作業を行ってください。
- 密閉した場所では換気を十分に行ってください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って洗い流してください。目に入った場合は水道水で十分洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 材料は、直射日光、降雨を避け、屋内冷暗所に保管してください。
- 可燃物のため、火気のそばには保管しないでください。
- 水で濡れた面には、絶対に塗付しないでください。
- 攪拌機、吹き付け機器、ローラー等は、施工部位等を考慮して適切なものを使用してください。
- 作業終了後、24時間は水がかからないように養生してください。
- この製品を取り扱う前に、必ず施工要領書および安全データシートをご一読ください。

セブンチタニック

セブンチタニックα 室内用コート剤

セブンチタニック 屋外用トップコート剤

「セブンチタニック」は、酸化チタンが太陽光の紫外線を浴びた時に発生する酸化分解作用と水になじみ易くなる親水化作用を利用することで、表面に付着した汚れを分解し、雨水などの力で洗い流す効果「セルフクリーニング機能」を発揮させる外壁用コーティング材です。この機能は光触媒が自然エネルギーである太陽光を利用して発現され、太陽光発電など様々な分野でも行われており、自然や環境に優しいエコロジーな製品です。



適用下地

- 外壁塗装面
- タイル・石材面
- コンクリート
- ガラス
- 室内の壁面
- 天井
- カーテン
- ブラインド

標準塗り工程数

- 室内側：1層2工程
 - 外壁面：2層3工程
- (詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

主成分

- 酸化チタン

塗膜の仕上がり

- 透明

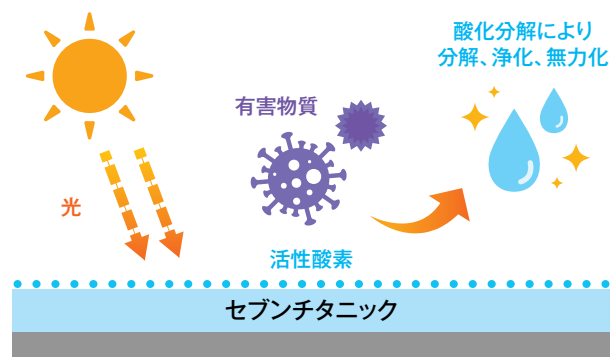
特長

- 外壁面や看板、ガラス面への**防汚効果**があり、美観を維持
- **大腸菌、黄色ブドウ球菌**などの繁殖を抑制
- たばこ・油の生活臭やアンモニア・ホルムアルデヒド・硫化水素の**悪臭を分解**
- NOX・SOX・ホルムアルデヒドの分解作用は**樹木の大气浄化効果に匹敵**

光触媒のメカニズム

光触媒のコーティング層に光が当たると、空気中の酸素や水と反応し、活性酸素が表面に発生します。この活性酸素が汚れや臭い、菌を分解し、清潔な環境を保ちます。

また、光触媒に含まれる酸化チタンは空気中の水と反応し、コーティングの表面に水とよくなじむ膜を作ります。この水が汚れを表面から浮かし、流れ落ちやすくなるのです。

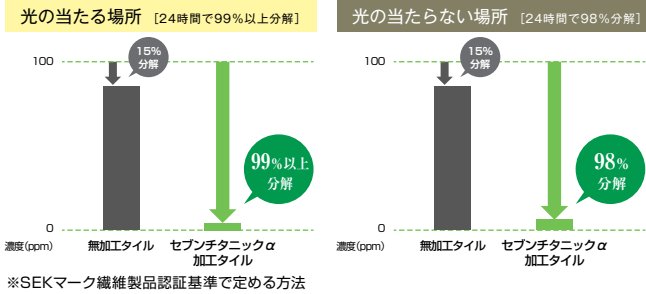


セブンチタニックα 室内用コート剤

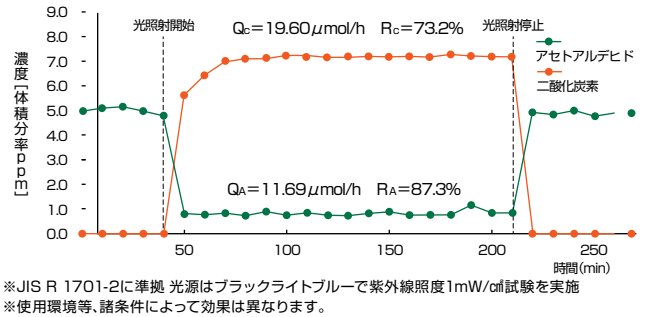
脱臭効果で汚れや臭いも簡単メンテナンス

セブンチタニックα光触媒層は臭いの元になるアンモニアガスやシックハウス症候群を引き起こすアセトアルデヒドにも高い除去性能を有しています。

アンモニアガス除去性能



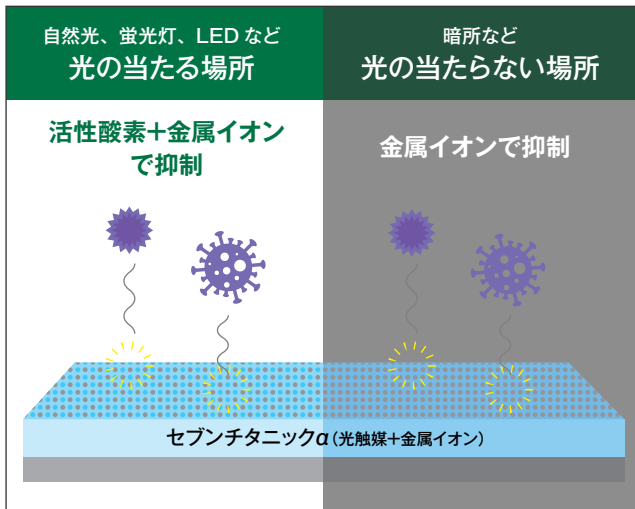
アセトアルデヒド除去性能



高い抗ウイルス・抗菌性

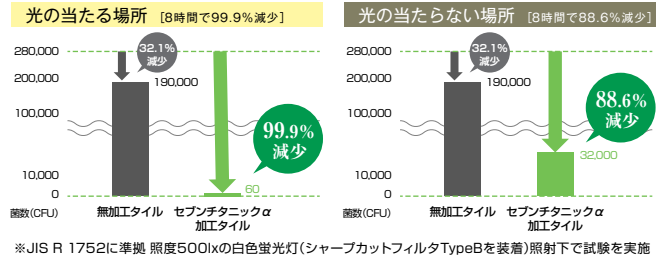
室内用のセブンチタニックα光触媒コーティング膜が壁や天井などに付着したウイルスや菌を抑制。光の当たる場所はもちろん、光が十分に当たらない場所でも独自配合の金属イオンが働き、清潔な空間を保ちます。

※本製品は医療品や医療機器などの医療を目的としたものではありません。
※本製品は表面に付着したウイルスを抑制するもので、感染予防を保証するものではありません。



黄色ブドウ球菌の残数比較

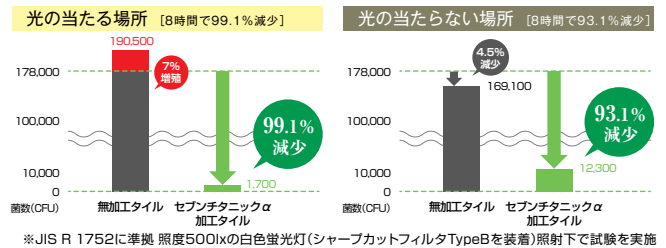
28万個あった菌が抗菌効果により光の当たる場所で99.9%、光の当たらない場所でも88.6%減少しました。



大腸菌の残数比較

明所・暗所いずれも高い効果

JIS基準値を大幅に上回る高い抗菌効果を発揮



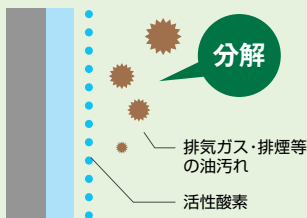
セブンチタニックα 屋外用トップコート剤

セルフクリーニング

光触媒が作る親水膜によって空気中の塵や埃がつきにくく、また、汚れが施工面から浮くので、雨が降ると汚れは雨水と一緒に流れ落ちます。自然の力だけでキレイが長持ちするのでメンテナンスも簡単。

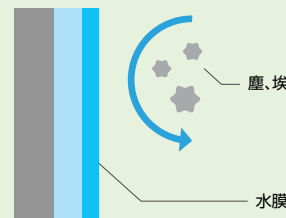
油汚れが落ちやすい

光触媒の分解力で、付いた汚れを分解し、付着力を弱めます。



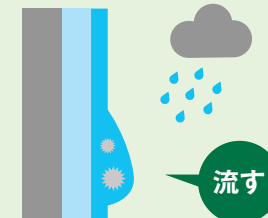
塵・埃の吸着を抑える

親水膜が静電気を防ぎ、塵や埃が付きにくくなります。



雨の力で洗い流す

高い親水性で汚れを浮かせて、雨と一緒に洗い流します。



標準塗装仕様・製品情報

標準塗装仕様

セブンチタニックα

工 程	製 品 名	希 積 (重量比%)	塗付量 (kg / m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
下地処理	・タバコのヤニ等、水溶性の汚染が目立つ時は、洗剤、水拭き等で、十分除去するか、しみ止めシーラー等を用いて事前に処理しておいてください。 ・塵埃、その他付着異物は、ウエス、ブラシ、エアブローその他のケレン具で事前に除去し、十分乾燥させてください。				
チタンコート (1 ~ 2回)	セブンチタニックα	無	0.03 ~ 0.04	1 以上	エアスプレー

※室内側での仕様では、光の照射が少ない為、下地が有機物の場合でもアンダーコート材「セブンチタニックプライマー」は使用しません。

セブンチタニック

■ 有機下地 (塗膜・樹脂等)

工 程	製 品 名	希 積 (重量比%)	塗付量 (kg / m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
下地処理	・高圧水洗浄等で、既存の汚れを除去し、十分乾燥させてください。 ・ひび割れ、はがれ、ふくれ、付着不良箇所は、事前に補修してください。				
チタンアンダーコート	セブンチタニックプライマー	無	0.03	3 以上 168 以内	エアスプレー
チタンコート 1 回目	セブンチタニック	無	0.03	1 以上 168 以内	エアスプレー
チタンコート 2 回目	セブンチタニック	無	0.03	乾燥養生	エアスプレー

※光触媒が有機物を酸化分解する特性がある為、下地を保護する目的のアンダーコート材「セブンチタニックプライマー」を使用します。

■ 無機下地 (ガラス・タイル等)

工 程	製 品 名	希 積 (重量比%)	塗付量 (kg / m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
下地処理	・高圧水洗浄等で、既存の汚れを除去し、十分乾燥させてください。 ・ひび割れ、はがれ、ふくれ、付着不良箇所は、事前に補修してください。				
チタンコート 1 回目	セブンチタニック	無	0.03	1 以上 168 以内	エアスプレー
チタンコート 2 回目	セブンチタニック	無	0.03	乾燥養生	エアスプレー

※無機下地の場合にはアンダーコート材「セブンチタニックプライマー」を使用しません。

荷姿

	製 品 名	入 目	種 類
アンダーコート	セブンチタニックプライマー	16L / 4L	1 液型
チタンコート	セブンチタニック IN	16L / 4L	1 液型
	セブンチタニック	16L / 4L	1 液型



注意事項

- 予め、ひび割れや気泡穴などの補修を含め下地調整は十分に行ってください。
- 下地の仕上模様や陽射しの時間により白っぽく見える場合があります。
- LED 照明では発現効果がありません。
- たばこのヤニ等水溶性の汚れは、水拭き等により清掃及び水溶性シミ止めシーラーで処置してください。
- セブンチタニックを塗付した面でも、雨掛りの悪い場所では油煙、塵埃などの汚れ残りができます。
- 太陽光の当たりづらい場所では、苔、藻類の繁殖抑制効果が下がります。
- 斜壁面から垂直面への取り合いや、窓周り下隅など、光触媒効果を超え、汚れの集中するような箇所では、汚ダレ筋の発生が見られます。予め、水切板の設置など、直接壁面に汚ダレが伝わらない処置をお願いします。
- 湿度の高い場合 (湿度 70% RH 以上) で、白曇りにブラッシング現象の生じる場合があります。天候の回復を待って塗装してください。
- 材料は水系のため、冬季の保管、使用の際は、凍結に注意してください。
- 施工中は、皮膚への接触を避けるため、保護具を着用してください。
- 予め施工要領を確認し、試験塗装をしてください。
- この製品を取扱う前に必ず、施工要領書と安全データシートをご一読ください。

コーティング膜の特性

	試験条件		セブンチタニック α 室内用コート剤	セブンチタニック 屋外用トップコート剤
鉛筆硬度	—	常温乾燥後鉛筆高度測定	2H	3H
密着性	JIS K 5600	基盤目テープ剥離	剥れなし	剥れなし
耐沸騰水性	JIS K 5600	沸騰水中に1時間浸漬	異常なし	異常なし
耐酸性	JIS K 5600	5%硫酸水溶液中に24時間浸漬	異常なし	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600	5%水酸化ナトリウム水溶液中に24時間浸漬	異常なし	異常なし

光触媒性能表示

■ 光触媒性能表示／セブンチタニック α

(1) 商品名	セブンチタニック α			
(2) 光触媒等の種類	酸化チタン			
(3) 光触媒等加工部位	壁紙・タイル 壁紙：空気浄化効果／UV タイル：抗菌効果／可視光			
(4) 光触媒等の効果				
空気浄化効果：UV (アセトアルデヒド)	測定方法は JIS R1701-2 に準拠しました。			
	アセトアルデヒド除去量※ 1	11.69 μ mol/h	この製品を部屋の容積 1m ³ あたり 1m ² の面積使用すると、昼間に室内空気中のアセトアルデヒドを 87.3%低減させる効果を期待できます。	
空気浄化効果：UV (トルエン)	測定方法は JIS R1701-3 に準拠しました。			
	トルエン除去量※ 2	1.09 μ mol/h	この製品を部屋の容積 1m ³ あたり 1m ² の面積使用すると、昼間に室内空気中のトルエンを 39%低減させる効果を期待できます。	
空気浄化効果：UV (ホルムアルデヒド)	測定方法は JIS R1701-4 に準拠しました。			
	ホルムアルデヒド除去量※ 3	4.73 μ mol/h	この製品を部屋の容積 1m ³ あたり 1m ² の面積使用すると、昼間に室内空気中のホルムアルデヒドを 73.6%低減させる効果を期待できます。	
抗菌効果：可視光	測定方法は JIS R1752 に準拠しました。			
	抗菌効果※ 4	大腸菌	抗菌活性値は 2.0	光触媒による効果は 0.9
		黄色ブドウ球菌	抗菌活性値は 3.5	光触媒による効果は 2.7
試験条件	照度 500lx (照射時間 8 時間) 光触媒工業会では、室内の一般的な照度として 500lx を規定としています。※ 5			
(5) 使用できる場所	窓から太陽光が入ってくる住宅・建造物の室内			
(6) 安全性	急性経口毒性、皮膚一次刺激性、変異原性について、光触媒工業会の安全性基準を満足していることを確認しています。			
(7) 使用上の注意	空気浄化：UV 表面に過度の汚れが付着していると、十分なセルフクリーニング効果が得られませんので、定期的な洗浄をお勧めします。 また実際の効果は、本製品が使用される面積、本製品に照射される紫外線の強さ、使用される部屋の容積、使用される部屋の換気量に依存します。			
	抗菌効果：可視光 表面に過度の汚れが付着していると、十分なセルフクリーニング効果が得られませんので、定期的な洗浄をお勧めします。			

※ 1 光触媒工業会の認証基準はアセトアルデヒド除去量 0.17 μ mol/h 以上です。この数値は、50cm²あたりのアセトアルデヒド除去量であり、この数値が高いほど室内のアセトアルデヒドを低減させる効果が高くなります。 ※ 2 光触媒工業会の認証基準はトルエン除去量 0.17 μ mol/h 以上です。この数値は、50cm²あたりのトルエン除去量であり、この数値が高いほど室内のトルエンを低減させる効果が高くなります。 ※ 3 光触媒工業会の認証基準はホルムアルデヒド除去量 0.17 μ mol/h 以上です。この数値は、50cm²あたりのホルムアルデヒド除去量であり、この数値が高いほど室内のホルムアルデヒドを低減させる効果が高くなります。 ※ 4 光触媒工業会の認証基準は抗菌活性値が「2.0」以上、光照射による効果が「0.3」以上です。抗菌活性値が「2.0」とは、抗菌効果により菌数が 1/100 に、「3.0」とは菌数が 1/1000 になることを表します。また、光照射による効果が「0.3」とは光を当てない条件の菌数に対し、光照射により菌数が約半分になることを表します。 ※ 5 各種照度と場所・環境の関係は、光触媒工業会ホームページをご参照ください。

■ 光触媒性能表示／セブンチタニック + セブンチタニックプライマー

(1) 商品名	セブンチタニック		
(2) 光触媒等の種類	酸化チタン		
(3) 光触媒等加工部位	タイル		
(4) 光触媒等の効果	測定方法は JIS R1703-1 及び JIS R1703-2 に準拠しました。		
セルフクリーニング効果	限界接触角※ 1	16.3° 以下	汚れを洗い流す性能の目安です。
	分解活性指数※ 1	9.2nmol/L/min	汚れを分解する性能の目安です。
(5) 使用できる場所	屋外		
(6) 安全性	急性経口毒性、皮膚一次刺激性、変異原性について、光触媒工業会の安全性基準を満足していることを確認しています。		
(7) 使用上の注意	表面に過度の汚れが付着していると、十分なセルフクリーニング効果が得られませんので、定期的な洗浄をお勧めします。		

※ 1 光触媒工業会の認証基準は限界接触角が 30° 以下であり、小さいほど性能が高い事を表します。
分解活性指数の認証基準は 5nmol/L/min 以上であり、大きいほど性能が高い事を表します。

※光触媒工業会の表示ガイドラインを遵守して表示しています。

タイカンコート

従来外装仕上げ材の多くは、外気温が5℃以下での施工が困難であり、冬期特に寒冷地では施工が困難な場合が多く見られます。

また、寒い時期に施工可能な仕上げ材も、溶剤系仕上げ材の場合は、火災・周辺環境、作業員への安全性の問題を有しています。

タイカンコートは、これら従来の仕上げ材の問題点を解決する、寒冷期施工が可能な水系塗り仕上げを目標に開発されました。



適用下地

- コンクリート ● モルタル ● ALCパネル
- サイディングボード ● 各種既存塗装面

標準塗り工程数

- 1層1～2工程(新築時は2層2～3工程)
(詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

樹脂の種類

- アクリル樹脂系

塗膜の仕上がり

- 着色仕上げ

特長

- 水系仕上げ材でありながら、氷点下(0～-10℃)環境での施工が可能
- 各種の既存下地に対する密着性が優れ、下塗り材が不要
- 通常2回塗りの省工程で素早い仕上がり
- 1液型で施工及び取り扱いが容易
- 安全、衛生面に優れた水系仕上げ

用途

- 集合住宅、戸建住宅、商業ビル、学校、病院、ホテル、工場などの建築物内外装
- 適用下地はコンクリート、モルタル、ALCパネル、コンクリートブロック、サイディングボードなど
- 既存塗り仕上げ面(複層塗材(吹付タイル)、外壁防水材、薄塗材(リシン)、厚塗材(スタッコ)など)の改修

タイカンコートの付着性

-10℃(Kgf/cm ²)				種類	+20℃(Kgf/cm ²)			
20	15	10	5		5	10	15	20
[Bar chart showing high adhesion]				タイカンコート	[Bar chart showing high adhesion]			
* [Bar chart showing lower adhesion]				複層塗材E	[Bar chart showing lower adhesion]			
* [Bar chart showing lower adhesion]				薄塗材E	[Bar chart showing lower adhesion]			
* [Bar chart showing lowest adhesion]				単層弾性材	[Bar chart showing lowest adhesion]			

※複層E、薄塗材E、単層弾性材は3℃にて保管し、試験時に-10℃にて塗付けた

施工実績



試験結果

試験項目	試験結果		試験方法及び規格値	備考		
	タイカンコート	市販単層弾性材				
低温安定性	合格	合格	-5℃⇄20℃繰返し 3 サイクル	JIS A 6909 (建築用仕上塗材) に準拠		
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	合格	3m / sec 気流中での乾燥試験			
付着強さ (N / cm ²)	(常態)	1.7	1.4		0.7 以上	
	(浸水)	1.4	1.1		0.5 以上	
温冷繰返し作用に対する抵抗性	合格	少し膨れ	水中⇒ -20℃⇒50℃繰返し 10 サイクル			
透水性 (ml)	0.1	0.1	0.5 以下			
耐衝撃性	合格	合格	500g の重りを 30cm 上から落下			
耐候性	少し黄変	少し黄変、膨れ	ウエザオメーター 1000 時間照射			
伸張性	(20℃)	180	425		120% 以上	
	(-10℃)	25	20		20% 以上	
低温貯蔵性 (塗料凍結温度)	-15℃で僅かに凍結	-5℃で凍結	所定液温で 7 日間静置	低温特性試験等		
作業性	低温	合格	不可 (凍結)		-5℃での塗装作業性	
	常温	合格	合格		室温での塗装作業性	
乾燥性	低温	合格	凍結及び造膜不良		-15℃で 24 時間乾燥後	
	常温	合格	合格		常温で 24 時間乾燥後	
耐水性	低温乾燥後	合格	少し塗膜の流出あり		-15℃、24 時間乾燥	1 時間浸水
	常温乾燥後	合格	合格		20℃、24 時間乾燥	
低温乾燥後の促進対候性	僅かに黄変	黄変、膨れ	-15℃、14 日後 WS 1000 時間			
透湿性試験	70	30	JIS-Z-0208(40℃)			

標準塗装仕様・製品情報

標準塗装仕様

下地の状態により、塗付量に差異を生ずることがあります。

	工 程	使用材料	希釈量 (重量%)	塗付量 (kg / m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法	
	1	下地ごしらえ	下地ごしらえの項参照				
ローラー塗り仕上げ	2	主材下塗り	タイカンコート	0 ~ 3	0.2 ~ 0.4	5 以上	ワールローラー
	3	主材上塗り	タイカンコート	0 ~ 2	0.7 ~ 1.0	—	多孔質ローラー
吹付塗り仕上げ	2	主材下塗り	タイカンコート	0 ~ 3	0.4 ~ 0.6	5 以上	リシガン 口径 2 ~ 3mm
	3	主材上塗り	タイカンコート	0 ~ 2	0.6 ~ 0.8	—	リシガン 口径 3 ~ 5mm

※希釈が必要な場合は、通常は清水を用い、氷点下施工では専用薄め液を使用してください。

下地ごしらえ

(A) 新築の場合

- 下地の乾燥時間は通常コンクリートで3週間以上とし、含水率8%以下、アルカリ度pH10以下などを目安に、仕上げ材との接着が失われないよう十分な乾燥が必要です。(特にコンクリート表層部分に水分が凍結している場合、施工後に塗膜剥離の原因となりますので注意が必要です。)
- モルタルの浮き、硬化不良、欠け(傷)、ALC版の破損、亀裂等は予め現場係員の指示を仰ぎ適切な処置を行ってください。
- 下地表面にほこり、セメントノロ粉、エフロレッセンス、型枠離型剤の残存物が付着している場合は、ワイヤーブラシ、サンダー、シンナーなどで除去清掃してください。付着物が残れば、その部分の接着力が弱くなり、付着不良や、はがれの原因となります。
- 下地のヘアークラックは、刷毛またはゴムベラなどで、タイカンコートを拾い塗りし、クラック部分は埋め込んでください。大きなクラックはUカットし、セブンシールU-2(2成分ウレタン系シーリング材)を充填し、更にセブンCRシステム(下地調整材S、弾性モルタルM)で平滑に仕上げてください。(ポリサルファイド系などを使用するときは塗装仕上がり面まで変色させるものがありますので十分注意してください。)

(B) 改修下地の場合

- 下地の浮きや、強度不良になっている箇所はサンディング処理し、凹部はセブンCRシステム(下地調整材S、弾性モルタルM)で補修処理してください。小さなクラック(0.5mm以下)は、刷毛またはゴムベラなどで、タイカンコートを拾い塗りし、クラック部分は埋め込んでください。大きなクラックはUカットし、セブンシールU-2(シーリング材)を充填し、更にセブンCRシステム(下地調整材S、弾性モルタルM)で平滑に仕上げてください。(ポリサルファイド系などを使用するときは塗装仕上がり面まで変色させるものがありますので十分注意してください。)
- 汚れやホコリなどは高圧水洗浄または、ワイヤーブラシなどで洗浄してください。
- 特殊材料で仕上げられた下地については、その都度打ち合わせの上、下地処理してください。

使用方法

1) ローラー塗り仕上げの場合

- 中毛ローラーによる下塗りは、所定量を塗り残しのないよう均一に塗り付ける。
- 下塗りが乾燥していることを確認後上塗りを行う。上塗りは、多孔質ローラーを用い、所定量を波形の均一な模様仕上げる。

2) 吹付塗り仕上げの場合

- リンガンを用い2回塗りする。1回目は口径の小さいノズルを用い平らに薄く塗り付ける。(口径2~3mm、吹き付け圧5~7kgf/c㎡程度)
- 1回目の塗膜が乾燥したことを確認し、2回目を所定量均一に塗り付ける。(口径3~4mm、吹き付け圧3~5kgf/c㎡程度)

施工時の気象条件

次のような条件の時は施工を避けてください。

- 気温-10℃以下
- 施工時及び乾燥硬化過程で降雨、降雪のある場合または予想される時。
- 結露、霧、霜等水分の影響が施工時前後で予想される時。

保管上の注意

- 通常の水系材料に比べ凍結し難い塗材ですが、寒冷地では凍結させないように注意して、屋内に保管してください。

注意事項(新築の場合)

- 気温35℃以上、湿度80%以上の時は施工を避けてください。
- 下地の乾燥時間は通常コンクリートで3週間以上とし、含水率8%以下、アルカリ度pH10以下などを目安に、仕上げ材との接着が失われないよう十分な乾燥が必要です。(特にコンクリート表層部分に水分が凍結している場合、施工後に塗膜剥離の原因となりますので注意が必要です。)
- モルタルの浮き、硬化不良、欠け(傷)、ALC版の破損、亀裂等は予め現場係員の指示を仰ぎ適切な処置を行ってください。
- 下地表面にほこり、セメントノロ粉、エフロレッセンス、型枠離型剤の残存物が付着している場合は、ワイヤーブラシ、サンダー、シンナーなどで除去清掃してください。付着物が残れば、その部分の接着力が弱くなり、付着不良や、剥がれの原因となります。
- 下地の不陸、目違い、突起(でっぱり、すじ、波打ち)、豆板、気泡穴などがある場合は、はつり、サンディング、モルタル補修、セメント系フィラー処理を行い、仕上げ模様により許容できる範囲に調整してください。
- 下地のヘアークラックは、刷毛またはゴムベラなどで、タイカンコートを拾い塗りし、クラック部分は埋め込んでください。大きなクラックはUカットシール工法等で補修してください。
- この製品を取扱う前に必ず、施工要領書と安全データシートをご一読ください。

注意事項(改修下地の場合)

- 気温35℃以上、湿度80%以上の時は施工を避けてください。
- 下地の不陸、目違い、突起(でっぱり・筋・波打ち)、豆板、気泡などがある場合は、はつり、サンディング後、モルタル補修、パテ処理を行い仕上げ模様の許容できる範囲に調整してください。
- 小さなクラック(0.5mm以下)は、刷毛またはゴムベラなどで、タイカンコートを拾い塗りし、クラック部分は埋め込んでください。大きなクラックはUカットシール工法等で補修してください。
- この製品を取扱う前に必ず、施工要領書と安全データシートをご一読ください。

荷姿

	製品名	入目	液型	種類
下塗り材	タイカンコートシーラーK	15kg / 4kg	1液型	水性
上塗り材	タイカンコート	15kg	1液型	水性
その他	タイカンコート薄め液	16kg / 4kg	1液型	溶剤

セブンヒートバリアー

ヒートバリアーは、熱反射率の高い超微粒子中空セラミックビーズと、耐久性に優れた架橋型アクリル樹脂を複合したコーティング材で、断熱特性が快適な室内空間を与え、伸縮性にも優れているため、コンクリート、スレート、カラー鉄板等の屋根と外壁を、長期間しっかり保護します。

水系材料のため、扱いやすく、地球環境に優しい塗料です。



適用下地

- コンクリート ● モルタル面 ● 屋根
- 各種塗装面

標準塗り工程数

- 2層3工程
(詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

樹脂の種類

- アクリルシリコン樹脂

塗膜の仕上がり

- 艶消(ローラー仕上げ)

特長

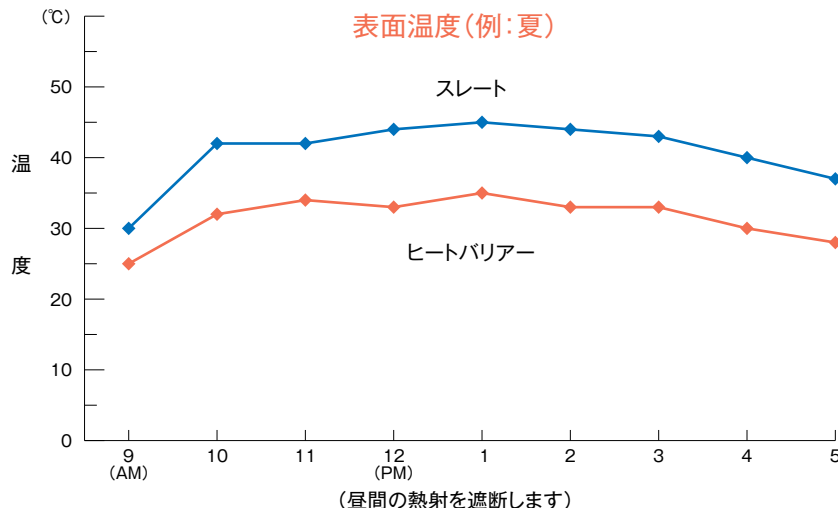
- 熱反射効果が高い超微粒子中空セラミックビーズが**建物の温度上昇を抑え、夏は涼しく、冬は暖かい外断熱**として機能
室内に塗れば省エネにも高い効果
- 塗膜に伸縮性があり**建物の細かなひび割れにも追従**
- 中空セラミックビーズの層が**防音効果を発揮**
- 建物内への熱エネルギー伝導を抑え、**結露の発生を効果的に防止**
- 緻密なアクリルシリコン樹脂のコーティング層が**建物を長期間しっかり保護**

ヒートバリアーの遮熱性

熱を反射して室内を涼しく保ちます。



品質



項目	結果	備考
貯蔵安定性	合格	JIS A 6909 建築用仕上塗材
付着強さ	合格	
温冷繰返し抵抗	合格	
耐衝撃性	合格	
透水性	合格	
耐久性	合格	
塗膜の伸縮性	良好	

東京都狛江市立和泉小学校



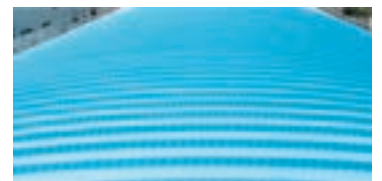
ヒートバリアー1回目塗



ヒートバリアー2回目塗



ヒートバリアー仕上がり



武蔵野市現場



中野区現場



標準塗装仕様・製品情報

品名	用途	色	容量
ヒートバリアー	上塗り	淡彩色	12kg缶
セブンメタルプライマー	改修金属用下塗り材	グレー	20kgセット缶
ヒートバリアーシーラー	セメント系下塗り材	クリアー	15kg缶

標準塗装仕様

工程		使用材料	希釈 (重量%)	塗付量 (kg / m ²)	工程時間 (時間)	施工方法
1	下塗り	窯業建材	ヒートバリアーシーラー	水 (0 ~ 20)	3 以上 ~ 168 以内	ローラー・刷毛・吹付
		金属面用	セブンメタルプライマー	3 ~ 10		
2	上塗り (1)	ヒートバリアー	水 (0 ~ 10)	0.3 ~ 0.35	3 以上 ~ 168 以内	ローラー・刷毛・吹付
3	上塗り (2)	ヒートバリアー	水 (0 ~ 10)	0.3 ~ 0.35	24 以上 (最終養生)	ローラー・刷毛・吹付

使用方法

清掃・下地調整

表面汚れは、高圧洗浄及び、ペーパー、ワイヤブラシ、デッキブラシ等で除去します。

コンクリート・スレート面等

- 凹みは樹脂入りモルタル等で埋めます
- ひび割れの大きい時（幅 0.3mm以上）は、シール材（ウレタン系等）で、小さい時（幅 0.2mm以下）は、ヒートバリアーで埋めます
- 表面が風化して弱くなっている箇所は、ワイヤブラシ、デッキブラシ、スクレッパー、或いは高圧洗浄等で取り除きます
- 下地は十分乾燥させます

鉄部

- 錆の発生箇所はペーパー、ワイヤブラシ、電動工具等で錆を取り除きます

注意事項

- 気温 5℃以下、35℃以上、湿度 80%以上の時は施工を避けてください。
- 塗装前後や乾燥時に雨や結露など水分の影響を受けるときは施工を避けてください。
- 直射日光や降雨・凍結の影響を避け、室内に保管してください。
- この製品を取扱う前に必ず、施工要領書と安全データシートをご一読ください。

荷姿

	製品名	入目	液型	種類
下塗り材	ヒートバリアーシーラー	15kg	1液型	水性
	セブンメタルプライマー	20kg セット	2液型 (基剤 16kg / 硬化剤 4kg)	強溶剤
上塗り材	セブンヒートバリアー	12kg	1液型	水性
その他	セブンメタルプライマー用シンナー	16 L	—	—

アマソニックA

弊社では特に湿式工法で石材の裏に用いられたモルタルのアルカリ成分等が石材表面に析出し、石材の美観、品質を低下させる等の問題点を解決する石材裏面処理材、アマソニックA及びその工法を開発。白華、錆汁、水分等が石材の表面ににじみ出すのを防ぎ、美観を継続維持する効果を発揮します。



適用下地

- 石材

標準塗り工程数

- 1 工程
(詳しい施工については施工要領書をご確認ください)

樹脂の種類

- アクリル樹脂

塗膜の仕上がり

- 白色

特長

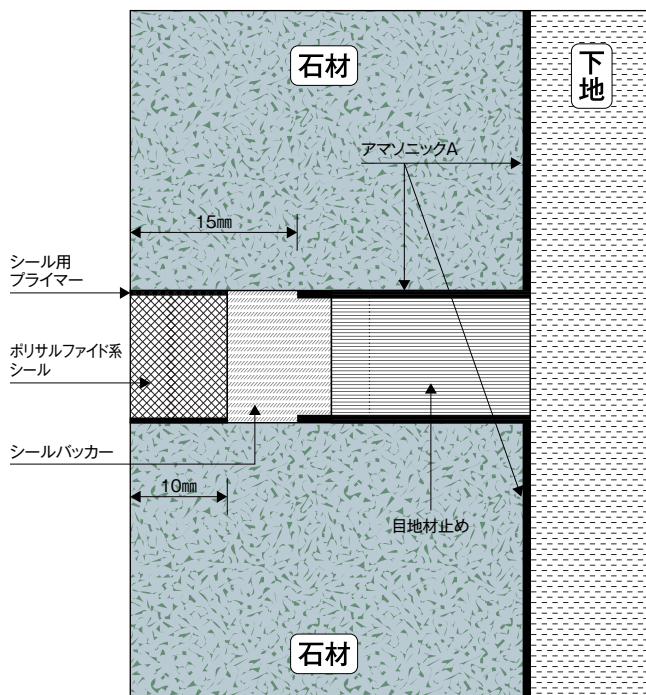
- 石材表面に発生する白華や濡れむらを防止
- 一液型で取り扱いが容易
- 刷毛塗り、ローラー塗り等、施工方法が自由に選定できる
- 耐水性、耐アルカリ性、耐久性に優れている
- 石材及び裏面モルタルとの相性が良好

使用方法

- ① 石材の塗付面は、汚れ、ほこり等の付着物がないよう、十分に除去清掃してください。また、本品は溶剤系ですので、塗付面に水分が残っていないように注意してください。
- ② アマソニックAは、必ず使用時にハンドミキサー等でよく攪拌して均一にし、ローラー、刷毛、スプレー等で塗付してください。
- ③ アマソニックAを塗付する場合は、最初に石材表面のコーナー部分に一度増し塗りし、その後、裏面全体を均一に塗付してください。(標準塗付量は原液で0.3~0.4kg/m²)
- ④ 塗付後の養生時間は24時間以上です。石張り工程は、翌日以降、1ヶ月以内に行ってください。
- ⑤ アマソニックA塗付面は、傷、汚れ等付けないように注意してください。万一、傷の付いた場合は、アマソニックAで補修塗りしてください。
- ⑥ アマソニックAは、溶剤を使用していますので、火気、換気に注意して作業を行ってください。

アマソニックAの目地部の取扱い

- 石材裏面処理材アマソニックAを使用する場合、石材側面(小口)シーリング材処理部との取合い部の処置をご確認ください。
- 小口処理は、図のように行ってください



アマソニックAの性能

【用途】石張り工法における石材裏面処理（石材の濡れむら、白華等の防止及びモルタルとの接着力の向上用）

【評価基準】◎：良好 ○：良 △：かなり不良 ×：不良

項目	石の種類 処理	御影石		大理石		備考
		アマソニックA 処理	無処理	アマソニックA 処理	無処理	
促進エフ口試験	ぬれ	◎	△	◎	×	硫酸ナトリウム5% 1ヶ月間浸漬
	エフ口	◎	×	◎	×	
石材とモルタルとの付着 (N/mm)	標準状態	1.5	0.4	1.7	0.3	モルタル材令21日 JIS A 6909
	温冷繰返後	0.9	0	0.8	0.2	
一般性能	乾燥時間(20℃)	2H	—	2H	—	指触乾燥
	耐水性	◎	—	◎	—	水浸漬 7日
	耐アルカリ性	◎	—	◎	—	JIS A 6021
	透水性	0.0	—	0.0	—	JIS A 6909

施工上の注意

- 次のような条件下での施工は避けてください。
 - ① 気温5℃以下、湿度80%以上の時
 - ② 施工時及び乾燥途中で降雨のある場合、または予想される時
 - ③ 結露、霧、雪、霜等の影響が施工前後に予想される時

材料保管上の注意事項

- 降雨、直射日光を避けてください。また、火気に注意してください。

注意事項

- 気温5℃以下、35℃以上、湿度80%以上の時は施工を避けてください。
- 直射日光、風雨を避け屋内で保管してください。
- アマソニックは溶剤を使用していますので、火気・換気に注意して作業を行ってください。
- 使用前に必ず十分に攪拌してから施工してください。
- この製品を取扱う前に必ず施工要領書と安全データシートをご一読ください。

荷姿

	製品名	入目	液型	種類
石材裏面 処理材	アマソニックA	16kg	1液型	溶剤
その他	アマソニックA専用シンナー	16L	—	—

製品ラインナップ

ページ	用途	商品名	規格	透明	着色	防水	防汚	防滑	遮熱・断熱	氷点下
3	水系あり 特殊アクリル系 透明防水仕上材	セブンS		○		○				
5	水系あり アクリルシリコン系 透明防水仕上材	セブンSS		○		○				
8	水系あり 外壁用塗膜防水材	セブンウォール	JIS A 6021		○	○				
11	水系あり 改修専用壁面防水材	セブンウォールシーラーレス	JIS A 6021		○	○				
13	水系あり サイディング用 保護透明塗膜	セブンサイディングコート		○		○				
14	水系あり 木材用透明塗膜	セブンコートN		○		○				
15		床用透明防滑材	ホゴコンエースMS-F	○				○		
17	水系あり 光触媒コーティング材	セブンチタニック		○			○			
21	水系あり 氷点下用化粧材	タイカンコート			○					○
24		遮熱塗料	セブンヒートバリア		○				○	
27		石材裏面処理剤	アマソニックA							

各ページアイコンの説明



透明

クリアな塗膜を採用することで下地の意匠性を維持します。



着色

日塗工の色見本に合わせて調色することで、幅広い色に対応。




防水

建物へ雨水の供給を防ぐことで、快適な空間、建物の高寿命化に貢献。



防汚

お手入れの難しい外壁等のメンテナンスを減らし、意匠性、エコ化に貢献。

	適用下地	樹脂の種類	標準塗り工程数	塗膜の仕上がり	防水保証
○	<ul style="list-style-type: none"> ●タイル ●ガラスブロック ●打ち放しコンクリート ●特に意匠性を重要視する建物の内外装 	●特殊アクリルエマルジョン樹脂 (中塗り)	3層5工程	透明(艶有・半艶・艶消) ※水性に艶消はありません	
○	<ul style="list-style-type: none"> ●タイル ●ガラスブロック ●打ち放しコンクリート ●特に意匠性を重要視する建物の内外装 	●アクリルシリコン樹脂(中塗り)	3層5工程	透明(艶有・半艶・艶消) ※水性に艶消はありません	
	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート面 ●モルタル仕上げ面 ●ALC/パネル面など各種セメント系成型パネル ●各種既存塗装面 ●タイル張り仕上げ面 	●アクリルゴム系(主材) ●アクリルシリコン樹脂(上塗り)	3層5工程	着色仕上げ(日本塗料工業会合わせ) なみがた仕上げ 吹付け仕上げ 凹凸仕上げ キャスト仕上げ	
	●各種既存塗装面	●アクリルゴム系(主材) ●アクリルシリコン樹脂(上塗り)	2層4工程	着色仕上げ (日本塗料工業会合わせ)	
	●サイディングボード	●アクリルシリコン樹脂	3層4工程	透明(3分艶程度)	なし
	●木材	●水性フッ素樹脂	3層5工程	透明	
○	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート(モルタル面) ●磁器タイル面 ●石材 ※レンガ・大理石への施工はできません 	●特殊アクリルシリコン樹脂	1層2工程 または 骨材吹き付け3工程	透明(艶有・艶消) ※半艶はありません	なし
	<ul style="list-style-type: none"> ●外壁塗装面 ●コンクリート ●室内の壁面 ●カーテン ●タイル・石材面 ●ガラス ●天井 ●ブラインド 	●主成分 酸化チタン	室内側:1層2工程 外壁面:2層3工程	透明	なし
	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート ●モルタル ●ALC/パネル ●サイディングボード ●各種既存塗装面 	●アクリル樹脂系	1層1~2工程 (新築時は2層2~3工程)	着色仕上げ	なし
	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート ●モルタル面 ●屋根 ●各種塗装面 	●アクリルシリコン樹脂	2層3工程	艶消(ローラー仕上げ)	なし
○	●石材	●アクリル樹脂系	1工程	白色	なし



転倒による事故を低減し、安心した生活に貢献。



室内の気温が上がりにくく快適な生活空間、エコ化に貢献。



これまで施工が難かった条件下での施工が可能。緊急時の対策が可能。



意匠性を重要視する石材張り仕上げ外壁面のエフロレシンス、雨水による濡れ色を軽減し意匠性に貢献。



〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12階
TEL 03(6809)2597 FAX 03(6809)2598
<https://www.seven-chemical.co.jp>